

2023年(令和5年)
11月号(第30号)
発行：東志賀学区
連絡協議会



秋満喫・わが街ウォーク

完歩のごほうびは愛情たっぷり、熱々の豚汁！ 11月5日に開かれた「学区わが街ウォーキング大会」で「女性の会」の皆さんが参加者に豚汁を振舞ってくれました。長引く新型コロナウイルスが収束し、今年は4年ぶりの通常開催。多世代の150人が秋晴れの空の下、ウォーキングで交流を深めました。17回目を数える伝統のイベントを運営する体育委員さんは朝7時半に小学校に集合し、イベントの準備や誘導係に大活躍してくれました。

「女性の会」腕ふるろう

「頑張って歩きましょう！」。体育委員長の坪井勉さんのあいさつと、ラジオ体操で大会はスタート。学区長の

準備と誘導お任せ 体育委活躍

山崎悦男さんは「地域のつながりと交流、健康作りの機会にしたい」と呼びかけました。完歩賞の景品と合わせて、参加者が大喜びだったのが、「女性の会」の名物、豚汁。前日から仕込みを進め、野菜とお肉、こんにゃくたつぷりの150食を用意してくれました。「豚汁とぜんざいは先輩から続く女性の会の伝統。コロナ禍で久しぶりの調理だったので、エキスパート（ベテラン）に集まってもらいました。そう話す会長の浅井叔子さんは「『おいしかった』と言われると、準備の疲れも吹き飛びます」

完歩豚汁でおもてなし

11月19日(日)@兒子八幡社

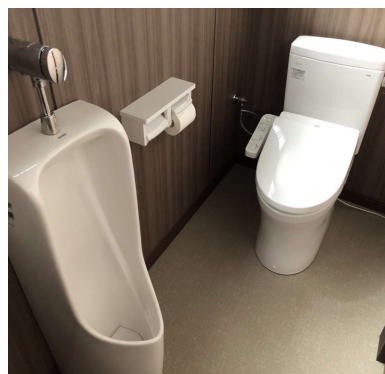
兒子八幡社（志賀町1の65）でのマルシェ「ちごいち」が迫ってきました。11月19日(日)の10時～14時まで黄色く色づいたイチョウがきれいな神社境内で開催します。もしも、雨が降ってしまった場合は東志賀コミュニティセンター（志賀町5の2の9）に会場を移して開催します。雨でもぜひご来場ください！

いよいよ『ちごいち』



雨天時はコミセン開催／社務所トイレ洋式に

兒子八幡社の管理をしている氏子総代会の皆さんが、「社務所のトイレを誰でも使いやすいようにしたい」との思いで、和式だったトイレを洋式に改修してくれました。足腰が弱いお年寄りも、和式便所に慣れない子どもたちも、これで安心して利用できます。多世代が来場する「ちごいち」でも、きつと喜ばれるはず。ボランティアで神社の手入れをしていただいている氏子総代会の皆さんは「住民の人が気軽に訪れてくれる神社にしたい」と願っています。トイレの改修も、そのための一大プロジェクトです。



しぶりの調理だったので、エキスパート（ベテラン）に集まってもらいました。そう話す会長の浅井叔子さんは「『おいしかった』と言われると、準備の疲れも吹き飛びます」

と笑顔。その言葉通り「すぐくおしい」と声をかけられた会員さんは「行事があると新しい人とのつながりが持てます。それが一番の目的であり、うれしい」と話していました。

町の英雄 情報求む

学区の地域新聞「東志賀ヒーローズ」は、地元の明るい話題を大募集中です。情報提供をお願いします。題字のイラストもお寄せください。お問い合わせは編集部 鈴木龍司(アバン第1町内会長) ☎080(3502)3534 専用メールは、[higashihighaherocom@gmail.com](mailto:higashihigashihighaherocom@gmail.com)

電子版新聞 ここから!



これまでの地域紙「東志賀ヒーローズ」と「ささえあいたより」を読むことができます。

勇気と思いやり、育もう!

志賀学区の長喜温泉(長喜町)の斜め前にある道場です。正義感と勇気、思いやりがあり、自分を信じて他人の幸せを考えて行動できる人。私たちはそんな人を目指して修業に励んでいます。気軽に楽しんでいただくため、12月9日(土)午前10時から11時半まで無料の護身教室を道院で企画しています。参加者を11月末まで募集中です。(文章は鈴木貴博道院長)

少林寺拳法名法道院

12月9日 無料の護身体験を企画



名法道院は開祖・宗道臣の教えを受け継いだ先師・高橋法昇が山の四国から名古屋に降り立ち、1978年に専有道場を建てて以来、この地で活動しています。愛知に少林寺の種をまいた場所です。少林寺拳法の目的は、秘めている可能性を信じ、豊かな社会を築くために行動できる人を育てること。強さを競い合うものではなく、幸せに生きることを説く「教え」と上達を楽しむ「技法」を相乗的に機能させる「教育システム」です。「出逢いを大事にして、良い方向に変わったと言われるような人間になろう」。道院では今も、先師・高橋法昇の指導方針を貫いています。道場は志を持った素晴らしい仲間が集う場所です。ぜひ、「護身体験」にご参加ください。対象は小学生以上で、定員25人。申し込みや問い合わせは、鈴木道院長 ☎090(2132)6316へ。



2010年のもので撮影したものは2枚撮りました(名法道院提供)写真ご年す

道場の詳細はこちら



地震への備えお助け 家具固定ボラ大活躍

大地震が起きたとき、どう身を守るか。家具が倒れないように固定しておくことが重要だと言われています。「でも、自分ではとても作業ができない...」。そんな高齢者らの強い味方が北区家具転倒防止ボランティア「チーム北家具ボラ」です。東志賀学区の犬飼邦雄さんと寺木忠利さんもメンバーとして



犬飼さん・寺木さん 実績市内1位、市長表彰

活躍中です。「犠牲者を減らしたい」「助け合いの精神が大事」。「北区の人の役に立ちたい」。2人は家具固定の講習を受け、日々、依頼者の自宅に「出勤」しています。先日、編集部は作業の現場に密着。1人暮らしの80代女性は「高い所に上るのも足がふらついて不安。本当に助かるわ」と感謝しきりでした。北区のチームは昨年度、172件の依頼をこなし、本年度もすでに100件を超えています。その数はともに市内の16区でナンバーワン。その実績が認められ、9月には河村たかし市長から感謝状が贈られました。消防団長も務める犬飼さんは学区の会議で表彰の件を報告。参加者から大きな拍手が起きました。家具固定は施工費は無料で、負担は材料費のみ(一部助成制度あり)。申し込みや問い合わせは北消防署総務課 ☎052(981)0119へ。

保護司さん募集!

学区は保護司を募集中です。社会復帰を目指す人に寄り添う大切な役割があります。研修などサポート体制も充実しています。ヒーローズの25号では長年、保護司を担った児玉昭子さんの思いを紹介しました(2次元バーコードから読み直してみてください)。66歳以下が条件。問い合わせは、保護司会の岡田常晴さん ☎080(4376)3650へ。



【今月の題字】東志賀小4年の浅井希沙蘭さんと山本結梨さんが力を合わせてかわい作品を描いてくれました。モミジ、果物、クリ、キノコ...。秋がたくさんつまった力作です。節目の30号を飾る題字をありがとうございます。題字の応募は編集部の鈴木まで。問い合わせ先はページ上部。